

◎チケット料金（全席指定・税込）	
一般	¥5,000
65歳以上の方	¥4,500
大学生・障がい者手帳をお持ちの方*	¥2,500
高校生以下	¥2,000

*横浜みなとみらいホールチケットセンター電話・窓口のみ取扱い。

小学生～18歳以下のお子様を無料でご招待！
枚数限定 ※詳しくはウェブサイトでご確認ください。

●同伴者（19歳以上）の方は、お子様の人数に
応じてチケットが半額になります。●横浜みなと
みらいホールチケットセンターにて窓口、電話
のみ受付（7月26日一般発売より）



◎チケット発売日	
横浜市民先行（横浜市在住・在学・在勤の方対象）	7月15日（火）
インターネット先行	7月22日（火）
一般発売	7月26日（土）

◎チケット取扱い・お問合せ
横浜みなとみらいホールチケットセンター
https://minatomirai.pia.jp
電話 | 045-682-2000（10:00～17:00）
窓口 | 休館日・保守点検日を除く（11:00～19:00）
※2025年10月から11:00～18:00

●チケットぴあ https://t.pia.jp
※車椅子席をご希望の方は、横浜みなとみらいホールチケットセンター（電話・窓口）にてお申込みください。

■下記につきまして、予めご了承ください。※就学前のお子様の同伴、入場はご遠慮ください。※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等変更になる場合がございます。※チケットは如何なる場合（紛失・盗難・破損等）も再発行いたしません。※お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更・払い戻しはいたしません。※公演中止の場合、旅費等の補償はいたしかねます。チケット券面記載金額のみ返金いたします。

Web予約申請
フォームは
こちらから



ご予約・お問合せ | 株式会社 明日香（あすか）
0120-165-115（平日10:00～17:00）
生後6か月から12歳（小学生）までのお子様
をお預かりします。事前予約制（定員10名）公演
の3か月前から3営業日前まで受付。



プレイベント

■ プレ演奏会 いち早く本演奏会の出演者をご紹介します！※詳細はウェブサイトにてお知らせします。

2025.11.13（木）クイーンズスクエア横浜・クイーンズサークル（予定）

関連イベント

「ピアニストってどんな人？
子どもたちとの交流会」

入場無料／要事前申込
※16日公演チケット購入者対象

11月16日公演出演のピアニストたちの演奏を間近に聴き、直接質問できるイベントです。ピアノを習っていないなくても、弾けなくても大丈夫。ピアノが大好きな人、ピアノをもっと知りたい人、将来ピアニストになりたい人など、ピアノに興味がある皆さんのご参加をお待ちしております。普段の演奏会とは一味違った迫力を感じ、ピアノやピアニストについて知りたいことを質問してみませんか？

2025.11.15（土）13:30～14:30
横浜みなとみらいホール レセプションルーム

対象：小学生～中学生（16日公演のチケット購入者） 定員：30名（保護者等のご同伴は2名まで可）
※定員に達し次第受付終了。※未就学のお子様の同伴、入場はご遠慮ください。※当日は通訳がきます。※公演の出演者が全員、揃わない場合がございます。※当日は16日公演のチケットを確認させていただきます。（無料招待チケットも可／同伴者はチケット不要）

特別レクチャー

聴講料 ¥1,000／要事前申込
※16日公演チケット購入者は無料

「ピアノの学びの限界を突破する：脳と身体の観点から」
科学的なアプローチからピアノの学習方法を見直してみませんか？
ピアノを学ぶ方、指導者ともに必聴です。

2025.11.16（日）11:30～12:30
横浜みなとみらいホール レセプションルーム

講師：古屋晋一 定員：70名 ※未就学のお子様の同伴、入場はご遠慮ください。

Profile
古屋晋一 FURUYA Shinichi ソニーコンピュータサイエンス研究所リサーチディレクター、ハノーファー音楽演劇メディア大学音楽生理学・音楽家医学研究所 客員教授、一般社団法人NeuroPiano代表理事。大阪大学 医学系研究科にて博士（医学）を取得後、ミネソタ大学 神経科学部、ハノーファー音大 音楽生理学・音楽家医学研究所、上智大学 理工学部にて勤務し、現職。主な受賞歴に、ドイツ研究振興会（DFG）Heisenberg Fellowship、文部科学省 卓越研究員、日本学術振興会賞など。



「子どもたちとの交流会」「特別レクチャー」のお申込方法

Peatixのウェブサイトやスマートフォンアプリより
お申込みください。※会員登録が必要です。

※ウェブサイトやスマートフォンアプリからの申込みが難しい方は、
横浜みなとみらいホール事務室（045-682-2020）までお問合せください。



受付開始日
8月7日（木）

横浜みなとみらいホール

ウェブフレンズ

横浜みなとみらいホールでのコンサートをさらに
お楽しみいただくための特典プログラム。
ホールの最新情報やお得な情報などをメール
マガジンでお届けします。

ご登録はこちらから



横浜みなとみらいホール

【公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団】

〒220-0012 横浜西区みなとみらい2-3-6
Tel.045-682-2020 Fax.045-682-2023
https://yokohama-minatomiraihall.jp/

X @yokohamammh

交通のご案内

●みなとみらい駅（東急東横線直通みなとみらい線）下車、徒歩3分。「クイーンズスクエア横浜連絡口」改札（地下3階）より左方向。
クイーンズスクエア横浜内の吹き抜けエスカレーター（赤）を1階まで上がり左方向、クイーンモール左奥。
●桜木町駅（JR京浜東北線・根岸線／横浜市営地下鉄）下車、徒歩12分。
みなとみらい方面の「動く歩道」から、ランドマークプラザ経由（3階から1階へ）でクイーンズスクエア横浜、クイーンモール左奥。

第43回 横浜市招待国際ピアノ演奏会

The 43rd
Yokohama
International
Piano Concert

横浜から世界へ羽ばたく
若きピアニストたちの国際フェスティバル

2025.11.16（日）15:00開演（14:20開場）
横浜みなとみらいホール 大ホール

主催＝横浜みなとみらいホール（公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団）
共催＝横浜市
企画＝横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員会
協賛＝ヤマハ株式会社、日本ソーディアック株式会社、株式会社ランディックス、新井鷗子
後援＝一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会（ビティナ）

令和7年度文化庁劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

助成＝

YAMAHA
Minato Mirai

YOKOHAMA
MINATO MIRAI
HALL
横浜みなとみらいホール

第43回横浜市招待国際ピアノ演奏会

The 43rd Yokohama International Piano Concert

2025.11.16(日) 15:00開演(14:20開場)

横浜みなとみらいホール 大ホール

「横浜市招待国際ピアノ演奏会」は、新しい文化を取り入れ発信し続けてきた横浜の街にふさわしく、世界中から将来を嘱望される才能を発掘し、広く紹介することを目的として1982年に創設されました。

国際的に活躍されたピアニスト、故・山岡優子先生の「世界の芸術家たちを育てていこう」という強い熱意から始まったこの演奏会でこれまでに紹介してきたピアニストたちは200人近くにのぼります。世界各国で華々しく活躍する錚々たる顔ぶれに、歴史の重みとこの演奏会が果たしてきた役割の大きさを感じずにはられません。40年を超える長きに亘って存続することができるのは、聴衆の皆様の温かいご支援、そして創設当初から親身になって支えてくださっている廣瀬 修氏をはじめ、毎年楽器を丁寧に調整してくださるヤマハ株式会社の皆様、各協賛社様、横浜市及び横浜みなとみらいホール、そして素晴らしい耳で真摯に演奏家を選定してくださる企画委員会の先生方、皆様のご協力のおかげに他なりません。心より感謝申し上げます。

第43回となる今回は、2016年以来9年ぶりに、小ホールから大ホールに会場を移し開催いたします。出演者も大ホールでの開催にふさわしく、今後の活躍が期待される素晴らしい4名の若手ピアニストが揃いました。それぞれの個性あふれる演奏にどうぞご期待ください。また、関連イベントとして、古屋晋一氏による特別レクチャー、恒例の人気企画「子どもたちとの交流会」も開催いたします。

この秋も多くのピアノを愛する皆様に横浜へお集まりいただき、未来に羽ばたく若いピアニストたちの音楽に耳を傾け、温かい応援をいただけますと幸いです。

横浜市招待国際ピアノ演奏会
企画委員長 海老 彰子
EBI Akiko
Chair, Yokohama International Piano Planning Committee



企画委員会

委員：伊藤 恵 須田 眞美子 弘中 孝 堀 了介 (50音順)

サン・ジッタカーン(タイ)

San JITTAKARN(Thailand)

ロベルト・シューマン：アラベスク ハ長調 Op.18 ／ 交響的練習曲 Op.13
R. Schumann: Arabesque in C Major, Op. 18 ／ Symphonic Etudes, Op. 13

ベルギー紙『ラ・リーブル・ベルジーク』から「靈感と明確なビジョンをそなえた詩人」と称えられたジッタカーンは、2018年にジュネーヴ国際音楽コンクールで第3位に輝いた。また同コンクール、モルジュ(スイス)のパデレフスキ財団、ビドゴシチ(ポーランド)のパデレフスキ国際ピアノ・コンクールが共同で贈るパデレフスキ賞の初受賞者となった。2016年、マリア・カナルス・バルセロナ国際音楽コンクールにて審査員満場一致で賞を授与され、ブリュッセルのエリザベート王妃国際音楽コンクールではセミファイナリストに選出された。スイス・ロマンド管弦楽団と共演した協奏曲の演奏録音は、プレゲ社の支援のもとジュネーヴ・コンクール・レーベルからリリースされた。またソリストとして、AMAA交響楽団、ワロニー王室室内管弦楽団、オーバーリン管弦楽団、オバーリン管弦楽団、王立バンコク交響楽団、タイ・フィルハーモニー管弦楽団等と共演。オーバーリン音楽院のモニク・デュフィルのもとで学士号を取得後、ジュリアード音楽院修士課程でジェローム・ローウェンタールとハン＝カン・チェンに師事。後にジョージ・W. マイルス・フェローとしてイエール大学修士課程を修了し、現在も同大学でチェンの指導を受けている。

ジャン＝ポール・ガスパリアン(フランス)

Jean-Paul GASPARIAN(France)

クロード・ドビュッシー：版画
C. Debussy: Estampes
アルノ・ババジャニアン：6つの描写
A. Babadjanian: Six Pictures
フランツ・リスト：ヴェルディのオペラ「トロヴァトーレ」のミゼレレによる演奏会用 パラフレーズ S.433 R.266
F. Liszt/Giuseppe Verdi: Miserere, from Il Trovatore S. 433/R. 266

「大家」(『ル・モンド』紙)、「果てしない想像力をもつ音楽家」(『グラモフォン』誌)と評されたガスパリアンは、すでに6枚のアルバムを発表しており、最新盤『Origins』(ナイーヴ)は『ディアボゾン』誌の金賞に輝いた。2014年、ヨーロッパ・ピアノ・コンクール・ブレメンで優勝。2020年、グシュタード(スイス)のソメ・ミュージコ音楽祭でティエリー・シェルツ賞を贈られ、ベルン交響楽団とCD『ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番&ババジャニアン：英雄のバラード』を録音する機会を得た。翌年、仏ヴィクトワール・ド・ラ・ミュージック賞にノミネート。ソリストとして、ニュルンベルク交響楽団、ヴァンタートウール・ムジークコレギウム、ベオグラード・フィルハーモニー管弦楽団、アルメニア国立交響楽団、イル・ド・フランス国立管弦楽団等と共演。2023年、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団との共演で、ハワード・ショアの《Ruin & Memory》をフランス初演した。1995年生まれ。パリ国立高等音楽院でオリヴィエ・ギャルドン、ジャック・ルヴィエ、ミシェル・ペロフ、クレール・デゼール、ミシェル・ダルベルトに師事。エリソ・ヴィルサラージェとタチアナ・ゼリクマンのマスタークラスも受講。

ヨナス・アウミラー(ドイツ)

Jonas AUMILLER(Germany)

フレデリック・ショパン：幻想曲へ短調 Op.49／3つのマズルカ Op.56／スケルツォ 第3番 嬰ハ短調 Op.39
F. Chopin: Fantaisie in f minor, Op. 49 ／ Three Mazurkas, Op. 56 ／ Scherzo in c-sharp minor, Op. 39

第3回ヨハネス・ブラームス国際ピアノ・コンクール(デトモルト、ドイツ)で優勝。第12回浜松国際ピアノ・コンクールでは第2位に輝いた。第27回リナ・サラ・ガロ国際ピアノ・コンクール(イタリア)にて第2位および3つの特別賞を獲得。第8回仙台国際音楽コンクールでは第2位および聴衆賞を受賞。ヴェルビエ音楽祭(スイス)ではタボール財団賞を贈られた。ミュンヘンで生まれ、7歳の時に初めてピアノのレッスンを受けた。トレント・フランチェスコ・アントニオ・ボンバルディ音楽院(イタリア)でマッシミリアーノ・マイノルフィに師事し、音楽学士号を首席で取得。2018年からは、ニューヨークのジュリアード音楽院、次いでクリーヴランド音楽院にて、世界的ピアニスト・教育者として名高いセルゲイ・ババヤンのもとで更なる研鑽を積んでいる。クリーヴランド音楽院では音楽修士号を取得後、2024年5月にアーティスト・ディプロマおよび「ホープ&スタンリー・アデルシュタイン作曲演奏優秀賞」を授けられた。アウミラーは、敬愛する19・20世紀のピアニストたちの伝統になって、オーケストラ作品やオルガン作品をみずからピアノ独奏用に編曲し、定期的に自身のリサイタルで演奏している。

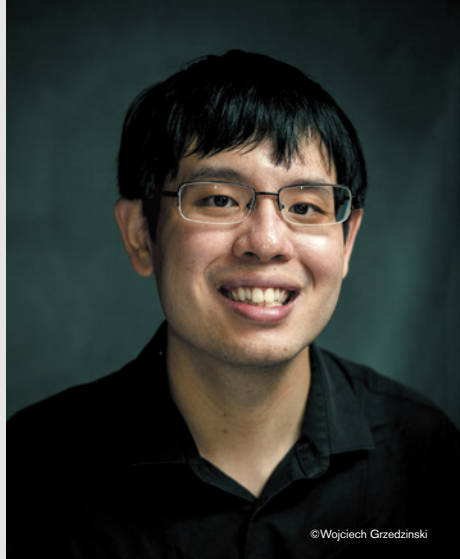
田所光之マルセル(日本 / フランス)

TADOKORO Marcel(Japan / France)

フランツ・リスト：超絶技巧練習曲 S.139 R.2b より
F. Liszt: From Études d'exécution transcendante S. 139 R. 2b

第3番「風景」S.139/3 ／ 第4番「マゼッパ」S.139/4 ／ 第7番「エロイカ」S.139/7
"Paysage" F-Dur S. 139/3 ／ "Mazeppa" d-moll S. 139/4 ／ "Eroica" Es-Dur S. 139/7
第8番「荒野の狩」S.139/8 ／ 第12番「雪あらし」S.139/12 他
"Wilde Jagd" c-moll S. 139/8 ／ "Chasse-neige" b-moll S. 139/12, additional pieces

2021年のモントリオール国際音楽コンクールでファイナリストに選出され、2022年にヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールでジョン・ジョルダーノ審査員長特別賞、サンタンデール国際ピアノ・コンクールで第3位を受賞。これまで、読売日本交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、ウラル・フィルハーモニー管弦楽団、フォートワース交響楽団、ワロニー王室室内管弦楽団等と共演。日本人の父とフランス人の母の間に生まれ、多様な文化の中で育った幼少期は、田所の音楽観に多大な影響を与えた。名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業後、パリ国立高等音楽院に満場一致の首席で入学。同時期にドビュッシー国際コンクールで第2位に輝く。ジャン＝フランソワ・エッセール、フローラン・ポファールに師事し、同音楽院ピアノ科を卒業。続いて同音楽院修士課程を修了。その後、パリのエコール・ノルマル音楽院に奨学生として入学し、レナ・シエレシェフスカヤのもとで更なる研鑽を積んでいる。オリヴィエ・ギャルドン、マルク・ラフォレ、エフゲニ・ボジャノフ、海老彰子からも教えを受けている。デビュー盤『ヘンゼルト：エチュード全曲集』(ナクソス)を2025年にリリース。



(途中休憩あり／18:10頃終演予定)